

# 令和2年度 雀宮中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標  
自主・自立の精神と豊かな心をもった、心身共に健康な児童を育成する。
- (2) 具体目標
- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
  - 進んで学びよく考える子ども（やる気）
  - 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）
- 合言葉 「元気・やる気・思いやりのある 雀央っ子」

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は、児童にとって、安心かつ安全な場所でなければならない。児童は、そのままの自分を受け入れてくれているという安心感の中で自己の存在感を感じ、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。また、学校は、学びの面白さを実感できるところでなくてはならない。児童は、主体的・対話的な学びを通して、分かる楽しさや自己の力の向上に気付いていく。

そのために、教職員が、児童一人ひとりと向き合い、互いにチームとして支え合い、絶えず研修に励んで専門性を高め、授業力を向上させるとともに、保護者や地域住民と連携し、信頼関係の下、共に子どもたちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 安心と成長の場となる学校をつくる  
・ 温かい人間関係の下、児童一人ひとりのよさと可能性が活かされ、行きがい・居がいのある学校作りに努める。
- (2) 成長し続けるための基盤を培う  
・ 分かる授業・主体的・対話的に学び合う授業づくりに努め、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに学びに向かう力を育成する。  
・ 認め・褒め・励ます指導により、自信や自己有用感の向上を図るとともに、道德教育の充実を図り、困難に負けない強さと他への思いやりの心を育てる。  
・ 運動を通して体力の向上を図るとともに、心身ともに健康に生活できる習慣の定着及び危機回避能力の育成に努める。
- (3) 未来を生き抜く力を養う  
・ グローバル社会に主体的に向き合う力を培うために、英語教育や情報活用能力を育成する教育を充実させる。  
・ 自分たちの市や町に対する理解を深め、誇りがもてるようにするために、総合的な学習の時間を中心に、「宇都宮学」や歴史のまちである雀宮についての学習に、積極的に取り組む。  
・ 社会の一員として生きていく基礎を培うため、「持続可能な社会」の視点から教育活動を見直し、教科横断的な学びとなるよう授業づくりを工夫する。
- (4) 多様な児童の状況に応じた指導・支援を行う  
・ 一人ひとりの教育的ニーズに対応するために、多様な学びの場を提供できるようにするとともに、教職員の指導力の向上を図る。  
・ いじめや不登校等の問題に対応するため、組織力を生かした柔軟な相談体制を確立するとともに、家庭や地域、諸機関との連携を強化する。
- (5) 学校のチーム力の向上を図る  
・ 若手教職員に対する OJT を推進し、指導力の格差の低減に努めるとともに、互いに学び合えるチームを作る。  
・ 全教職員が必要な情報を共有することで、一人で抱え込まず互いの要請に応え合えるチームを作る。  
・ 教職員が、心身ともに健康な状態で職務を遂行することができるよう、常に業務の改善の視点で教育活動を見直すとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する
- (6) 地域とともにある学校づくりを推進する。  
・ 地域の教育力を生かし学びを深めるため、地域協議会や関係機関及び団体等と連携し、幅広い人材を活用する。  
○ 地域学校園内での情報交換を密にし、各校の課題等について解決の方向性や対策に対する見解を話し合い共有する。  
・ 児童の育成について思いを一つにし、家庭・地域と連携しながら、信頼される学校作りに努める。
- (7) 新しい時代にふさわしい教育環境を整える  
・ 学校に配備された ICT 機器を積極的に授業に取り入れ、より分かりやすい授業づくりを行うとともに、タブレット型 PC 等を生かし児童が主体的に学ぼうとする意欲を高める。

[雀宮地域学校園教育ビジョン]

一人ひとりが自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成  
～ いきいきとした活動を通して ～

#### 4 教育課程編成の方針

##### (1) 基本方針

- ・ 知・徳・体の調和のとれた発達を目指すため、各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の相互の学びの関連を図った編成を行う。
- ・ 地域学校園教育ビジョンである「一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を目指す教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。
- ・ 保護者や地域住民の願いを踏まえ、本校の教育の目指すところを共有し、地域の教育力が生きる編成を行う。

##### (2) 留意点

- ・ 昨年度の各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
- ・ 教科横断的な視点を持ち、各教科間または各教科の学習内容に関連する道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮するなど、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
- ・ 地域の教育資源を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・ 地域学校園児童生徒の課題から、今後育てていきたい力を明確にし、共通実践等を取り入れる。

#### 5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

##### 【学校運営】

- ・ 業務の内容を見直し、効率化を図ることで、児童とともに過ごす時間を大切にするとともに、教職員が持てる力を有効に発揮し、チームとして動ける学校づくりに努める。また、地域の教育資源を生かした教育活動、小中が連携した継続的な教育活動により、地域とともにある開かれた学校づくりを行う。

##### 【学習指導】

- ・ 「学習内容が確実に定着する授業」「主体的・対話的に学び合う授業」づくりを工夫する。

そのために、

- ① 「ねらいが明確になっている授業」「ねらいを実現するための手立てが明確になっている授業」「ねらいが実現されたかどうかを振り返り、適切に評価されている授業」「評価が次の授業改善に活かされている授業」作りを行う。
- ② 主体的・対話的な学びを促すことができるよう、普段から安心して考えを出し合い、互いに高め合える学級集団の育成に努める。
- ③ 導入や発問、教材・教具を工夫したり、深く考え学び合える学習の場を工夫したりする。また、ICT 機器を積極的に活用する。
- ④ 社会の一員として生きる力を育成するために、キャリア教育や教科横断的な視点を意識した授業づくりに努める。
- ⑤ 基礎・基本の定着を図るため、雀宮地域学校園で取り組んでいる「百ます計算」や本校独自の「漢字チャレンジデー」を実施する。
- ⑥ 読書活動の充実に努めるため、本に興味を持たせる工夫をする。
- ⑦ 「雀央スタンダード」を基に共通理解を図りながら、学習の基礎・基本を身に付けさせるようにする。

##### 【児童生徒指導】

- ・ 児童一人ひとりにとって居がいのある学校にするとともに、自己肯定感を高め自信をもって活動できる児童、困難に負けないうまくましい心をもった児童の育成に努める。

そのために、

- ① 教職員がそれぞれの視点から児童のよさを見取り、「認め・褒め・励ます」ことに取り組む。
- ② 学校行事や縦割り班活動及び道徳科の授業等で、課題を克服する充実感や達成感を味わわせたり、粘り強さや自律心を育んだりする学習活動を工夫する。
- ③ 校内支援委員会を中心として、全校的な支援体制を確立させるとともに、家庭や地域、関係機関と連携した支援体制の充実に努める。
- ④ 雀宮地域学校園との連携による地域ぐるみの「あいさつ運動」を積極的に推進し、「いつでも、どこでも、だれにでも、何度でも、元気に、明るく」あいさつのできる児童の育成を目指す。
- ⑤ 「雀央スタンダード」を基に共通理解を図りながら、基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導・支援を進めていく。

##### 【健康（保健安全・食育）・体力】

- 運動に親しみ、自己の運動能力の向上を目指そうとする意欲を育てるため、各種目について自分のめあてをもたせたり、休み時間に技能や体力の向上に取り組める用具を整備し運動を奨励したり、意欲的に運動に親しむきっかけづくりを工夫したりする。
- ・ 自分の成長や健康に関心を持ち、健康な生活を送ろうとする態度を育てるため、生活習慣や食習慣の改善に関する学習を工夫し、養護教諭・学校栄養士・家庭と連携した取組を推進する。
- 「3（食・色）キャンペーン」などを通して食に対する興味関心を高めたり、ランチルームでの会食などを通して望ましい食習慣を身に付けさせたりする。また、お弁当の日などで実践したことを「食育ファイル」にまとめる。
- ・ 自分たちを取り巻く様々な危険に対する理解を深め、児童の危険予測・危機回避能力の育成に努めるため、保健の学習や避難訓練、交通安全についての指導の工夫を行う。
- ・ 「雀央スタンダード」を基に共通理解を図りながら、廊下の歩行・清掃・食事のマナーを身に付けさせることができるようにする。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。  
 ※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 基本的な学習態度や学習技能の習得を図るための手立てを、全学級で行う。 (1) 発達段階に応じた「発表する力」「聞く力・話し合う力」のポイントの掲示 (2) 小集団学習の効果的な活用 (3) 話合いの観点の提示、発表の場の工夫	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> <tr> <td>100</td> <td>94.0</td> <td></td> <td>93.8</td> </tr> </table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、主体的に学習活動が取り組める手立てをしていく。	教職員	保護者	地域住民	児童	100	94.0		93.8
	教職員	保護者	地域住民	児童								
	100	94.0		93.8								
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもってやさしく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 道徳の時間の指導を要として、思いやりのある豊かな心情を育成する。 2 縦割り班による児童会活動や清掃活動をはじめ、異学年集団による活動を取り入れ、上級生が下級生の面倒をみることを通して、思いやりの心が醸成されるようにする。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> <tr> <td>100</td> <td>93.6</td> <td>100</td> <td>93.6</td> </tr> </table> 保護者の数値指標が昨年より 1.3 ポイント上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 学校図書館司書との連携による読書活動の推進や「思いやりキャッチフレーズ」の定着などの取組を実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	100	93.6	100	93.6
教職員	保護者	地域住民	児童									
100	93.6	100	93.6									
A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。 (1) 「雀央スタンダード」に基づいた全校体制による指導の徹底 (2) 生活目標の設定による、目標を焦点化した指導の展開 (3) 職員会議後に行う児童指導に関する情報交換の活用	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> <tr> <td>100</td> <td>95.0</td> <td>100</td> <td>91.9</td> </tr> </table> 教職員、保護者、児童ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 「雀央スタンダード」の朝の会での活用や新しい生活様式を明記した「雀央小のきまり」の実施、保護者配付を通して、児童・保護者への周知徹底を図る。	教職員	保護者	地域住民	児童	100	95.0	100	91.9	
教職員	保護者	地域住民	児童									
100	95.0	100	91.9									
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 ○児童会活動を中心に地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図るとともに、取組を発信していく。 (1) 年 2 回の地域学校園あいさつ週間の取組の充実 (2) 児童会、あいさつ隊によるあいさつ運動の展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> <tr> <td>97.2</td> <td>81.5</td> <td>100</td> <td>96.3</td> </tr> </table> 教職員、児童ともに数値指標を上回った。保護者に関しては昨年度より 0.7 ポイント下がった。 【次年度の方針】 学級の指導で、家庭や地域へのあいさつの仕方など具体的な方法を指導し、学級懇談会や個人懇談で「あいさつ」の話題を出し啓発をする。また、「児童指導だより」や「学校だより」で保護者に周知していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	97.2	81.5	100	96.3	
教職員	保護者	地域住民	児童									
97.2	81.5	100	96.3									

<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 児童の自己肯定感や自己有用感を高めるために、ピカイチカードを積極的に活用する。</p> <p>2 「100ます計算」や「漢字チャレンジデー」、各種検定等に児童が各自の目標をもって取り組めるよう支援する。</p> <p>3 学校で児童が粘り強く取り組んでいることを学校便りや学年便りを通して保護者に知らせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.2</td> <td>81.5</td> <td></td> <td>88.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童は数値指標を大きく上回り、保護者の数値指標も上回っている。目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組むことを教職員が重視しているのとらえることができる。</p> <p>【次年度の方針】 ピカイチカードの積極的な活用により自己肯定感や自己有用感を高めたり、宮・未来キャリア・パスポートを活用し、様々な場面で一人一人が目標を明確にもてるような支援を積極的に実践していく。また、児童の頑張りを認め、励ますような場を設けていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	88.2	81.5		88.4
教職員	保護者	地域住民	児童							
88.2	81.5		88.4							
<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施することにより、危険予測や危機を回避する意識の高揚を図る。</p> <p>2 保健だよりや児童指導だよりといった各種便りの配付により、健康や安全に関する意識を高める。</p> <p>3 保健指導教材を活用し、各クラスにおいて発達段階に応じた指導を行い、感染症予防に対する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>90.4</td> <td>100</td> <td>93.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・避難訓練を実践的に実施し、危険予測や機器を回避する意識を高めることができた。 ・各種便りの発行や保健指導教材により感染症予防対策の必要性を発信し、指導・支援したことにより、児童が主体的に感染症予防に取り組めるようになった。</p> <p>【次年度の方針】 今後も避難訓練の実践的な取り組みや、感染症予防対策の徹底を行っていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	90.4	100	93.4
教職員	保護者	地域住民	児童							
100	90.4	100	93.4							
<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 「雀央サミット」への参加や、サミットで決定した各地区での取組への積極的な参加を促すことを通して、社会貢献への意識を高める。</p> <p>2 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高めたり、勤労観・職業観の育成を図ったりする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.2</td> <td>81.5</td> <td></td> <td>88.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者は数値指標を昨年度より 4.1 ポイント上回った。一方、児童は数値指標を 2.1 ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 宮・未来キャリア教育の指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高める指導を意図的に行い、キャリアパスポートを有効に活用する。「雀央サミット」への参加を通じた社会貢献意識の高揚を図る。また、学校 HP にサミットの活動内容などの掲載をし、保護者への周知・啓発を図っていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	88.2	81.5		88.4
教職員	保護者	地域住民	児童							
88.2	81.5		88.4							
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 教員とALTの打合せを綿密に行い、ALTを効果的に活用した授業が展開できるようにする。</p> <p>2 ALTと日常的に触れ合える機会を増やす。 ・各教室での給食 ・清掃活動への参加 ・クラブ活動への参加</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td></td> <td></td> <td>88.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、授業以外でもALTや英語に触れることができる場の設定をさらに工夫していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1			88.8
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.1			88.8							

<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、雀宮地域や宇都宮の良さを学べる授業を展開する。 2 ○「雀宮の日」に合わせて、地域学校園で統一した取組や、児童会の集会活動を実施する。 3 宇都宮の良さを理解できるように宇都宮学の年間指導計画に基づき、指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71.4</td> <td>66.4</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>81.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は数値指標を上回っている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で施設巡りや校外学習が中止となり、アンケートに反映されなくなったため、昨年より教職員や児童の数値は下がった。</p> <p>【次年度の方針】 学習内容の開始時期を見直したり、授業参観等で保護者に学習内容の理解を促す活動を行ったりしていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	71.4	66.4	/	81.8
教職員	保護者	地域住民	児童							
71.4	66.4	/	81.8							
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童はICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 各教科の授業において、パソコンや実物投影機、プロジェクターなどを効果的に活用した授業を展開する。 2 学校図書館司書や南図書館と連携を図り、学習に図書を活用できる環境を整える。 3 プログラミング教育など、ICT機器を使用する学習を計画的に実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.3</td> <td>77.3</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>84.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は数値指標を上回っており、おおむね満足できる結果となった。しかし保護者の肯定的回答は80%を下回っており、ICTの活用能力を高めることへの期待の表れととらえられる。</p> <p>【次年度の方針】 次年度から1人1台のパソコン導入が予定されているので、児童の学習に取り組む状況が大きく変わることが予想される。学校での取組状況を学校便り、学年便り等で保護者に周知していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	94.3	77.3	/	84.1
教職員	保護者	地域住民	児童							
94.3	77.3	/	84.1							
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわり的心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもってやさしく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 地域高齢者をボランティアリーダーとした「昔遊び」や「火起こし体験」などの授業を設定し、交流を行う。 2 道徳の時間の指導を通して、生命や人権を尊重する心の涵養を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>93.6</td> <td>100</td> <td>93.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者の数値指標が昨年より1.3ポイント上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 学校図書館司書との連携による読書活動の推進や「思いやりキャッチフレーズ」の定着などの取組を実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	93.6	100	93.6
教職員	保護者	地域住民	児童							
100	93.6	100	93.6							
<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 社会科や総合的な学習の時間、委員会活動の指導を通し、環境問題への意識を高める。 2 火災や竜巻などの避難訓練の事前指導を通して、防災意識を高める。 3 小学校段階での「持続可能な社会」を目指すための課題について確認し、児童の発達段階に応じた指導を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54.3</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>90.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく下回った。「持続可能な社会」という用語を難しく捉えすぎていたと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、児童の発達段階に応じて身近なことから取り組んでいけるようにしていく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	54.3	/	/	90.5
教職員	保護者	地域住民	児童							
54.3	/	/	90.5							

目 指 す 学 校 の 姿	<p>B 1 児童は家庭学習の習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、宿題や自主学習などを行う学習習慣が身に付いている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 雀央スタンダードを活用し、児童の発達段階を踏まえた家庭学習の推進を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td>89.3</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>91.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1	89.3	/	91.1
	教職員	保護者	地域住民	児童							
	97.1	89.3	/	91.1							
	<p>A 13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 校内支援委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。</p> <p>2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	/	/	/
教職員	保護者	地域住民	児童								
100	/	/	/								
<p>A 14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 全校体制による組織的ないじめ防止策の推進を図る。</p> <p>(1) いじめゼロ強調月間での取組 (2) 学校だより・学年だより・児童指導だより等を活用した、いじめ撲滅推進のための各種取組の積極的な発信 (3) 学校生活アンケートによる「いじめ」の早期発見・早期対応を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>87.4</td> <td>100</td> <td>98.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者の肯定的回答は、昨年度よりも8.2ポイント数値指標を上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 いじめ防止のための取組をより理解してもらうようにするために、いじめゼロ集会の録画をオープンスクールや授業参観、学級懇談の際に放映する。また「学校だより」「児童指導だより」などを通して保護者・地域に取組を発信していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	87.4	100	98.8	
教職員	保護者	地域住民	児童								
100	87.4	100	98.8								
<p>A 15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 〇児童のよさを認め、称賛したり励ましたりする指導を心がけることで、児童の自己肯定感を高める。</p> <p>2 児童全員との教育相談期間「おしゃべりタイム」を実施する。</p> <p>3 校内支援委員会を随時開催する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>93.9</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>97.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 わかる・喜びのある授業の実践（一人一人のよさや違いを生かした授業）及び居心地のよい学級づくり（構成的グループエンカウンターの実施等）を実践していく。また、ピカイチカードの継続的利用を行う。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	93.9	/	97.5	
教職員	保護者	地域住民	児童								
100	93.9	/	97.5								

<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 外国人児童に関しての情報共有をし、必要に応じた支援や関係機関との連携を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 145 1500 224"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100			
教職員	保護者	地域住民	児童							
100										
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 学年・学級経営計画に基づいた、意図的・計画的な指導を通して、明るく、活力のある学級づくりを目指す。 (1) 雀央スタンダードの活用 (2) Q-U 検査の効果的な活用</p> <p>2 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主体的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。 (1) 縦割り班活動の工夫・改善 (2) 行事運営への児童の参加促進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 519 1500 598"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>94.6</td> <td>100</td> <td>94.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者、地域住民ともに数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。児童の数値も昨年度より約3ポイント上がっている。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、一人一人が活躍できる場を設定し、「いがいのある学校」づくりを目指す。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	94.6	100	94.0
教職員	保護者	地域住民	児童							
100	94.6	100	94.0							
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 確かな学力を身に付けさせるための分かる授業作りを推進する。 (1) ねらいとねらいを実現するための手立てが明確な授業、適切な評価と評価が生かされた授業 (2) 研究授業や一人一授業の計画的な実践による指導方法の改善</p> <p>2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。 (1) 習熟度別学習や少人数指導、IT など指導体制の工夫 (2) かがやきルームを活用した個別指導の充実 (3) 個に応じた教材の開発・活用</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 911 1500 990"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>92.9</td> <td></td> <td>97.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童、保護者ともに数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100	92.9		97.5
教職員	保護者	地域住民	児童							
100	92.9		97.5							
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 情報の共有・状況の共有を積極的に図り「チーム雀央小」の一員であることをより自覚できるようにする。 (1) 打合せ用紙の配付による毎朝の連絡 (2) ミニ支援委員会・ミニ対策会議の実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 1471 1500 1550"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、情報の共有・状況の共有を積極的に図り、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	100			
教職員	保護者	地域住民	児童							
100										

<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 各自が出退勤記録を打刻することや、退勤目標時刻を職員室に表示したり、毎月リフレッシュデーを設定したりすることで、効率的な業務遂行及び勤務時間管理の意識化を図る。</p> <p>2 教職員の負担軽減に向け、前例にとられず、スクラップ&amp;フォーカスを進める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>数値目標を上回り、満足できる状況になったが、昨年度より約7ポイント下がっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、業務内容が増えたことが原因と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 リフレッシュデーを金曜日に設定して計画的・効率的に業務を進める意識を高めるなど、引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	86.1			
教職員	保護者	地域住民	児童							
86.1										
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 ○地域学校園による「小中一貫教育実施計画」に基づき、中学校との円滑な交流を推進していく。 (1) 全体会・各部会・分科会実施 (2) 地域学校園「あいさつ運動」年2回 (3) 「宮っ子チャレンジウィーク」受け入れ（中学生職業体験） (4) 地域学校園内小中合同による南図書館清掃</p> <p>2 取組について保護者、地域へ積極的に情報発信を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.9</td> <td>81.6</td> <td>100</td> <td>62.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者は、数値目標を上回っているが、児童は数値目標を約18ポイント下回っている。昨年度と比較すると保護者が約1ポイント、児童が約15ポイント下がっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、小中一貫の取組が中止になったことが原因として考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 雀宮地域学校園としての実施計画に基づき、引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、小中一貫の活動であることを児童に意識づけするとともに、活動の様子を各種たより等で発信していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	94.9	81.6	100	62.4
教職員	保護者	地域住民	児童							
94.9	81.6	100	62.4							
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 地域協議会を通して授業ボランティアを募集したり、予め学校ボランティアを登録しておいたりする。</p> <p>2 企業や専門家による各種出前授業等を計画的に活用する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.2</td> <td>89.9</td> <td>100</td> <td>90.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.2	89.9	100	90.7
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.2	89.9	100	90.7							
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 「雀央サミット」を通じた、児童から自治会・育成会と児童との相互の意見交流を通して、地域や家庭との連携を図る。</p> <p>2 地区市民センターや地域主催の行事への参加を奨励する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.2</td> <td>89.9</td> <td>100</td> <td>90.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となったが、昨年度のものより約2ポイント下がっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、雀央サミット等の行事が中止になったことが原因と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、「雀央サミット」等の意義や効果を内外にアピールし、より効果のある教育活動を実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.2	89.9	100	90.7
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.2	89.9	100	90.7							

<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 月例の安全点検により、危険箇所の早期把握・早期対応に努める。</p> <p>2 保護者や利用者へ感染症予防対策依頼（体温チェックや消毒依頼）や利用時の注意喚起、危険箇所の表示、AED設置場所、災害時避難方法等の危機対応に関する情報を提供する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 147 1501 226"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.2</td> <td>92.2</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・安全点検を適切に実施し、危険箇所の修繕修復を早期に実施することができた。 ・危険箇所について、放送や通知による情報発信を行い、周知徹底をすることができた。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取り組みを継続していくとともに、危機対応に関する情報発信を強化していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.2	92.2	100	
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.2	92.2	100								
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 児童がICT機器を活用する授業を意図的・計画的に実践する。</p> <p>2 図書選定委員会を開催し、計画的な図書の購入に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 539 1501 618"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.3</td> <td>77.3</td> <td></td> <td>84.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を上回っており、おおむね満足できる結果となった。しかし保護者の肯定的回答は80%を下回っており、ICT機器や図書の充実を望んでいることがわかる。</p> <p>【次年度の方針】 今あるハードや一人1台のパソコンを十分に活用し、具体的な取組を着実かつ効果的に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	94.3	77.3		84.1
教職員	保護者	地域住民	児童							
94.3	77.3		84.1							
<p>B2 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 校内研修の活性化を図る。 (1) 一人一授業の実践 (2) 小グループでの協議を取り入れた授業研究会</p> <p>2 外部研修への参加を奨励する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1034 929 1501 1008"> <thead> <tr> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1			
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.1										

## 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

27の評価項目中25項目で肯定的回答の数値指標を上回ったことから、本市が目指す「児童の姿」「学校の姿」についておおむね適切な取組が行えたと考える。中でも次の13項目は、全評価対象者とも90%超の肯定的回答となり、十分満足できる結果となった。(Aは本市共通の評価項目、Bは本校独自の評価項目)

- ・ A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
- ・ A2 児童は、思いやりの心をもっている。
- ・ A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。
- ・ A6 児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。
- ・ A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。
- ・ A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。
- ・ A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。
- ・ A18 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。
- ・ A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
- ・ A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
- ・ B2 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。

### 【課題】

以下の2項目が、数値指標を下回った。

- ・ A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。(教職員回答) 54.3%(2.7↑)
- ・ A21 学校は「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。(児童回答) 62.4%(25.5↓)

A12では、「持続可能な社会」に対応する教育について、発達段階に応じてどのように指導していくか、教職員の共通認識が必要である。A21については、コロナ禍で小中一貫の取組が中止となったことで、児童が中学校との交流を実感できなかったものと推測される。

## 7 学校関係者評価

- ・ 今年度の学校運営はどれほどの苦労があったことかと思う。児童を守るために尽力いただいたことに感謝申し上げる。
- ・ コロナ禍の影響により、いくつかの項目について昨年度の結果を下回ったが、やむを得ない状況であったと思う。
- ・ マスク着用による表情の見えづらさ、密を避ける等の指導もあり、挨拶等コミュニケーションの低下は実感していた。今後この状況が改善した際には、今まで以上にこの点についての指導を重視してもらいたい。
- ・ 校外学習、小中一貫の活動、雀央サミット等を含めた様々な行事が中止・縮小となったことが影響し、子どもたちの意識や熱意が低くなってしまったように感じる。
- ・ 「夢や目標に向かって…」の項目で教師・児童の値が低下したのは、元気がない児童が一定数見られたからではないか。教職員が指導したいのはそのような部分なのだろう。
- ・ あいさつについては、校内では児童の方から声をかけてもらえることが多い。校外ではあいさつを返してもらえないこともあるらしく、積極的になれないのは保護者・地域住民の大人にも原因があり、反省しなければならない。
- ・ 「持続可能な社会」への関心は現在最重要なことと思う。社会の倫理感の欠如がここまで環境を悪化させている。生命全体への思いやりや、住居である地球への畏怖の念などを、教育の中、家庭の中でも取り入れなければならない。
- ・ 「小中一貫」の数値が大きく低下したが、活動が実感できないことで、中学校への不安が大きかったのではないかと不安解消のためにも今後の取組に期待したい。
- ・ 新年度においても引き続き対応していかなければならないことがまだまだあると思うが、今年度の経験をぜひ生かしてもらいたい。更には、学校運営全般において、一度立ち止まってこれまでのやり方を見直す良い機会であると肯定的にとらえてもらいたい。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

多くの制限があり、大変困難な状況であったが、多くの項目で数値指標を達成することができた。関わりの難しい中でも保護者や地域の支援・助言を受けて、児童・教職員が「この状況下でできること」に真摯に取り組んできたことに一定の理解を得られたものとする。

しかしながら、児童の肯定的回答が昨年度比で2項目低下していることが示すとおり、学校の力だけでは子どもの力を伸ばすことは難しく、改めて、家庭・地域の教育力の活用は不可欠であることを痛感させられた。引き続き厳しい状況は続くと思われるが、次年度も、雀央小の児童のためになる取組について発信し、保護者・地域の協力を得て、充実した学校経営ができるよう努めていきたい。